スマート農業利活用セミナー

来場2日間で1164名

自動操舵トラ・作業機展示

十勝農業協同組合連合会（山本勝博代表理事会長）主催による「スマート農業利活用セミナー」が3月8・9日、北海道音更町のアグリアリーナで開催された。トラクタメーカーを中心に11社が参加。作業機を装着したGPSガイダンスや自動操舵システム搭載のトラクタ、開発が進むロボットトラクタなどの展示や、出展メーカーによるセミナーなどを実施。今最も関心を集めている内容とあって初のイベントながら2日間で延べ1164名が来場。各々最新情報を持ち帰った。

今セミナーは、昨年開催した『衛星データ利活用セミナー』で農業生産者にアンケートを実施したところ、「ガイダンスシステムや自動操舵システムを上手く使いこなすことができないので、操作研修の機会を設けて欲しい」との要望を受けて実施したもの。十勝農業協同組合連合会の髙橋英三専務理事は「会場で各種機械に触れて、スマート農業における操作技術の習得と技術導入に向けた問題解決につなげ、農業生産者の経営発展に寄与することを期待している」と挨拶を述べた。

会場では各メーカーが、自動操舵システム搭載のトラクタやスマート農業を実践する可変施肥機、スプレーヤといった各種作業機を展示。シミュレータを前に操作技術の指導を受けている来場者の姿をあちこちで見られた。また、ガイダンスシステムメーカーも最新機や開発中のソフトウェアを紹介。ドローンは展示のほか、屋外会場では防除作業やリモートセンシング作業の実演が行われた。

2階会議室では出展企業によるセミナーのほか北海道大学大学院農学研究員の岡本博史准教授が「G空間ビッグデータ収集の取り組み事例」の基調講演。延べ731名が出席し、高い関心を集めた（関連記事7面）。各メーカーが出展した自動操舵搭載トラクタ並びにGPS連動作業機は次の通り。

《トラクタメーカー》▽三菱農機販売＝PUMA150（150ps）＋VICON可変ブロードキャスタRO－EDW1500G、GR135MMT（135ps）＋田端農機員製作所可変プランター▽ヰセキ北海道＝BIG・T T7624（240ps）＋eversフロントカルチベーター、BASELIERカルチポテトプランター、TJW120（120ps）＋AMAZONE可変ブロードキャスタ（ZA－M Profis HYDRO）▽インタートラクターサービス＝CASE IH OPTUM 300CVT（300ps）＋VICON可変ブロードキャスタ（RO－EDW2150）▽ヤンマーアグリジャパン北海道カンパニー＝JOHN DEERE JD7230R（230ps）＋JOHN DEEREラウンドベーラーJD864i（オートメーション仕様）、YANMARロボトラYT5113（113ps）▽エム・エス・ケー農業機械＝MF5713SLEFD6（127ps）＋KUHNブロードキャスタ、FENT936バリオS4（360ps）＋KUHNパワーハロー（5m）▽日本ニューホランド＝T7・315（300ps）＋KUHNファテライザースプラッターAXIS40・2、3DR社ドローンSOLO▽北海道クボタ＝M171H1オートステア付（170ps）＋VICON牽引スプレーヤISOBUS車速連動。

《ガイダンスシステム及びドローンメーカー》▽ニコン・トリンブル＝GNSSガイダンス（CFX－750）、自動操舵補助システム（EZ－Pilot及びAutopilot）、Trimble Agソフトウェア、ドローン（Sky Mapper）▽トプコン・岩崎の合同＝可変施肥システム（CropSpec）、マップ施肥ソフトウェア、UAVによるほ場センシング例、オートステアリングシステム▽農業情報設計社＝スマートフォン・タブレット用GPSガイダンスアプリ「AgriBus－NAVI」▽AIRSTAGE＝DJIドローン。

北海道クボタ

ヤンマーアグリジャパン北海道カンパニー

ヰセキ北海道

三菱農機販売北海道支社

やまびこ

20.9㎖新軽量刈払機を発売

大幅な軽量化実現

8月までキャンペーン実施

永尾社長

「共立」「新ダイワ」ブランドを持つ、やまびこ（永尾慶昭社長）は、4月に新型軽量刈払機を両ブランドからそれぞれ発売する。エンジン排気量20・9㎖で、クラストップの質量と扱い易さを目指し、やまびこ技術陣が総力を挙げて開発。「軽さ」をイメージしたデザインで、畦畔・法面はもちろん、女性や高齢者にも扱いやすい仕様になっている。

やまびこ＝東京都青梅市末広町1－7－2＝から、待望の軽量刈払機が発売される。農業や緑地管理において多くの時間を必要とする草刈り作業に使用される刈払機は、女性や高齢者の使用割合も高いことから、使用にあたって負担が小さく、より軽い機械への要望が寄せられていた。特に、畦畔や法面などでの草刈り作業では、長時間機械を使用する男性からも、身体的な負担や作業中の疲労の軽減のために軽量な機械が求められている。

今回発売する新型軽量刈払機（共立：SRE2230、新ダイワ：RA3021）は、軽さを追求するため構成部品をグラム単位で見直し、各所に新設計されたメカニズムを投入。特に軽量加工の施された大きな窓付きのファンケースには新採用の防振機構を搭載し、エンジン部の軽量化に貢献する。

旧モデル（共立：SRE2220UT、新ダイワ：RA2121－UT）と比較して約600gと大幅に軽量化し、共立ブランドのツーグリップ仕様では質量3.2kgと圧倒的な軽さを手に入れた。

また、先端部には新タイプの小型樹脂性安定板を採用した軽量ギアケースや新開発の操作桿などを採り入れ、総重量を削減しながらも全体の重量バランスを最適化し、とり回しがしやすいことも特長。エンジン排気量20・9㎖ながら草刈り作業に適した出力性能に仕上げている。

新しくなったブランド別の外観デザインは「軽さ」をイメージ。セールスプロモーションでは新機種の軽さを無重力にたとえ、その無重力空間にただよう宇宙飛行士をメインビジュアルに据えた、目を引くデザインのポスターや専用展示台を用意している。

発売に伴い2017年8月まで「軽いが一番」キャンペーンを実施。今回の新型軽量刈払機のみならず、大好評のトップハンドルチェンソーやブロワなど、やまびこが誇る軽量機種を積極的に紹介するキャンペーンとなっている。

【仕様（両モデル共通）】《共立》▽SRE2230UT（Uハンドル）▽SRE2230GT（2グリップハンドル）▽SRE2230L（ループハンドル）《新ダイワ》▽RA3021－UT（両手ハンドル）▽RA3021－GT（2グリップハンドル）▽RA3021－PT（ループハンドル）《本体乾燥重量》▽3.2kg（SRE2230GT）▽3.3kg（RA3021－GT）▽3.4kg（SRE2230LT、RA3021－PT）▽3.5kg（SRE2230UT）▽3.6kg（RA3021－UT）《その他》▽エンジン排気量＝20・9㎖▽燃料タンク容量＝0・41L▽気化器＝ダイヤフラム式▽点火プラグ＝：BPMR8Y▽始動方法＝共立：iスタート、新ダイワ：ソフトスタート。▽発売時期＝2017年4月。

共立SRE2230UT

新ダイワRA3021－PT

マキタ

充電式運搬車を発売

用途別に2つのタイプ

最大積載量130kg、登坂力12度

堀社長

マキタ＝堀司郎社長、愛知県安城市住吉町3－11－8＝は、この度、充電式運搬車「CU180DZ」を発売する。同製品は、充電式とすることで「排気ガスを出さない」「燃料を必要としない」「始動の手間がかからない」「振動で農作物を傷めない」「圧倒的に低騒音」などの特長を持ち、人と環境にやさしく手軽に使用できる充電式運搬車となっている。

建設現場や農作業現場、果樹園、造園などでは重い荷物を運ぶことも多く、主に一輪車やエンジン式の運搬車などが使用されている。

マキタがこの度発売する充電式運搬車「CU180DZ」は充電式にすることで、①排気ガスを出さない②燃料を必要としない③始動の際、手間がかからない④振動で農作物を傷めないなど。

その他の特長は、以下の通り。

①18Vバッテリ1つでパワフル運搬＝同社の18Vリチウムイオンバッテリ1つで駆動し、バッテリは2つ装着可能なため、充分な走行距離を確保（バッテリ、充電器は別販売品）。

②大型ブラシレスモータ搭載により、最大積載量130kg、最大登坂能力12度など優れた走行性能を実現。手で押す力をモータパワーでアシストし楽に運搬が可能。

③作業用途に合わせて選べる2つのスタイル＝箱・袋・コンテナなどの運搬には「パイプフレーム荷台」、砂・砂利・土など細かい物の運搬には「バケット荷台」と、荷台を取り換えることで様々な作業に対応（荷台は別販売品）。

【仕様】▽モデル名＝充電式運搬車CU180DZ▽バッテリ電圧＝18V▽最高速度＝前進：3.5km／hまたは、1.5km／h、後進：1.0km／h▽走行可能距離・使用可能時間（目安）＝7.2km・120分※バッテリ2本使用時▽最大積載量＝130kg▽最大登坂能力＝12度▽寸法＝パイプフレーム装着時：長さ：最大1560最小1110×幅：最大1060最小670×高さ：最大900最小820㎜、バケット装着時＝長さ：最大1310最小110×幅：最大790最小590×高さ：最大900最小820㎜▽質量＝パイプフレーム装着時：45kg、バケット装着時：40kg▽標準小売価格＝10万2100円（税別）※本体のみ。バッテリ、充電器、荷台は別販売品で、バッテリ：2万3200円、充電器2万6700円。、パイプフレーム荷台：2万2800円、バケット荷台：1万5500円（税別）。

CU180DZ（パイプフレーム荷台装着時）

CU180DZ（バケット荷台装着時）

横浜市で開催

「DJI CAMP」

セキドは、4月19～21日にドローン教習セミナー「DJI CAMP」を横浜市金沢産業振興センターにて開催する。

三菱ダイヤモンドフェア

福岡県で開催 2200名が来場、実績4億円

松永支社長

三菱農機販売九州支社が3月9～11日、福岡県朝倉市のサンライズ杷木で「2017春の三菱ダイヤモンドフェア」を開催した。3日間ともに快晴の中の展示会で大変な賑わいとなり、来場者約2200名、実績4億円と、春商戦を前に好調な滑り出しとなった。また三菱マヒンドラ農機からは、連日役員幹部が駆けつけ、参加メーカー、及びスタッフを激励した。

他にも日本農業応援トラクタの展示や話題のドローンの実演などで会場は活気に溢れていた。展示会終盤には「お楽しみ抽選会」が行われ、和気あいあいと大好評の内に終了した。

松永支社長は、「引き続き農業を取り巻く環境は厳しい中ではあるが、多くの方々に来場頂き、活気溢れる展示会になった。今後も社員一同、新たに掲げたブランドメッセージ『人も道具も、長く強く。』のもと、お客様とのつながりをより強固なものとし、これからの販売活動を進めて参りたい。提携メーカーの皆様・関係者の皆様にはご協力いただき、御礼申し上げます」とコメントした。

3日間、活気溢れた会場

メインコーナーの7条田植機LE70D

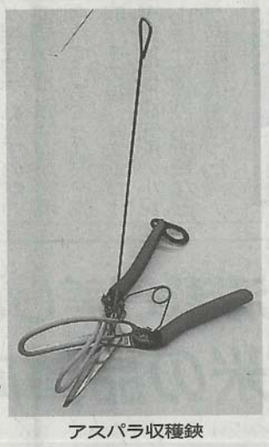
メインコーナーでは最新モデルの1行程枕地植えが可能な7条田植機LE70D、オートダウン機構を搭載したニューGAトラクタの実演説明が行われ、来場者の関心を集めた。また管理機・野菜移植機のコーナーでは、圃場実演が行われ、来場者は熱心に質問していた。

作業効率大幅アップ

サボテン アスパラ収穫鋏発売

サボテン＝石田昌宏社長、兵庫県三木市別所町巴40、電話0794－82－0666＝は、錆びに強いステンレス製のソリ刃を採用し、収穫効率を大幅にアップする「アスパラ収穫鋏」を発売した。開発のポイントは、アスパラの立茎（春に収穫後、来春に向けて親になるアスパラの芽を伸ばす）作業の邪魔をしない製品に仕上げたこと。

【主な特長】①刃は63㎜のステンレス製ロング刃を採用②刃の角度は、畑に並行して収穫できる角度に設定。そのため収穫作業効率の大幅アップを実現③収穫の目安になるものさし（28㎝）付。④ものさしは、アスパラが収穫しやすいように鋏のかしめ部分をネジ式にし、着脱できるようにした⑤立茎時期など、ものさしが邪魔になる時は、取り外して使えるようにした便利な構造。⑥アスパラを切った後、やさしくしっかりとつかむキャッチ機能付き⑦キャッチ部は、アスパラを傷めない樹脂コーティング加工⑧持ち手は、滑りにくく作業がしやすい樹脂加工仕上げ。


アスパラ収穫鋏

パルサー 収穫量増に大貢献

天然アミノ酸バイオ肥料

パルサー・インターナショナル＝井上倫平社長、東京都八王子市＝の天然アミノ酸バイオ肥料「オルガミンDA」が全国の農家に浸透している。従来商品をパワーアップし希釈倍率を1000倍まで薄めることを実現。

天然アミノ酸が主原料で、そのアミノ酸群が、根や茎、葉、果実の成長を促し、高温や低温障害や病害に対する抵抗力を増大させるだけでなく、作物の品質向上や収量増にも貢献する。ぶどうやトマトなどさまざまな作物で実績を上げている。

導入実績など詳細は電話042－666－1662へ。

オルガミンDA

農機営業部を移転

スイデン

スイデン（川合雄治社長）は、奈良工場にある農機営業部を大阪本社屋に移転し、4月3日から業務を開始する。

◇

【農機営業部・新事業所】所在地＝〒543－0062、大阪府大阪市天王寺区逢阪2－4－24、スイデン大阪ビル▽電話＝06－4303－3240▽FAX＝06－4303－3256。

大興貿易が出展

関西農業ワールド

大興貿易は、4月5日（水）～7日（金）に大阪市のインテックス大阪で開催される「関西農業ワールド2017」に出展。複合菌体資材「アンナプルナ」に新製品の「アンナプルナα」を出品▽小間番号4－25。

永田製作所 手動式の薬剤散布機

ハウスの立木野菜・花卉用

「スプレーバギー8」

永田製作所＝田中寿和社長、大阪市西淀川区千舟1－5－41、電話06－6473－0835＝は、立木野菜・花卉用の手動式薬剤散布機「スプレーバギー8（エイト）」の拡販に注力している。

本機は、パイプ左右に散布用の扇型噴口を4カ所（計8カ所）設置した構造。足回りは四輪のノーパンクタイヤを採用。本体はスチール製で低重心、高い安定感を実現、移動と走行が簡単にできる製品になっている。本体寸法は、ハウスの収穫台車に合わせた大きさ。薬剤は全ての登録農薬が使用できる。

【主な特長】①低重心で安定感のある大型四輪タイヤにより、移動と走行が楽で、操作性がアップ②扇型ノズルを採用、噴霧口角度が自在になり葉裏散布を可能にした。

③8カ所ある噴口に、それぞれストップ機構（止水）を付け、無駄な散布を解消した④噴霧管左右にバルブを取り付け、片側だけの散布も可能にした⑤作業者に合わせて、ハンドルの高さが調整できる－など。

【主な仕様】▽寸法＝タイヤ幅410×全奥810～990×全高1745各㎜▽質量＝16・4kg▽ハンドル高＝800～980各㎜。

関西農業資材展

スナオ電気が新製品

スナオ電気は、4月5日（水）～7日（金）に大阪市のインテックス大阪で開催の「関西農業資材EXPO」に出展。自動かん水タイマーの他、新商品の電磁弁も出品。